

# 議会だより



養老かるた

シリーズ

「薩摩義士役館跡」

2月 臨時会

3月 定例会

ホームページ  
<https://www.town.yoro.gifu.jp/>



議会QRコード

新年度予算 注目は？	2
予算特別委員会報告	4
常任委員会報告	6
こんなことが決まりました	7
町の考えを問う（7議員が一般質問）	8
あれから「人口減対策」は	
どうなったんやあ～	14
議会に対する意見（住民の声）	14
議会ニュース	14

発行/2021年5月1日 養老町議会 〒503-1392 岐阜県養老郡養老町高田798 TEL0584-325084(直通) 編集/議会だより編集特別委員会 印刷/盛福印刷機

## 議会ニュース

### 産業建設委員会

#### サラダコスモ養老生産センター視察

産業建設委員会は3月24日にサラダコスモ養老生産センターを視察しました。工場内を工場長より説明を受けながら、野菜をカットし袋詰めにしていく様子を見学させていただきました。



### 3月定例会よりタブレット端末を導入

養老町議会では、議会のICT化推進や資料のペーパーレス化を目的とし、3月定例会より議案書などを閲覧するタブレットを導入しました。また、議会の様子をライブ配信する試みを行いました。

### 令和3年第2回定例会を6月に開催予定です。

ぜひ傍聴にお越し下さい。詳しい日程は「広報よろう」6月号と町ホームページでお知らせします。ご不明な点は議会事務局までお問い合わせ下さい。

## 議会に対する意見 シリーズ 36

### 住民の声

このシリーズは、町内の各種団体の代表の方などへ、編集委員が意見をお聞きし、その記事を掲載するものです。

町内在住 T・Kさん

今年3月末に、地元の多くの人から信頼されていた2代続いたF医院が閉院になりました。利用していた患者さんが、新たな「かかりつけ医」に悩んでおられるということも多くの人から聞き、新型コロナウイルス感染者の発生前に発表された西美濃厚生病人院の再編・縮小を思い出しました。町民にとって、地元の病院がなくなることや規模が縮小されるということは大変心配なことです。

全国的にも経営の効率化だけによる再編が、新型コロナウイルス対応病床確保に影響が出ているとの問題点の指摘があります。養老町でも新型コロナウイルス感染者の発表がありますが、その後、養老町の医療体制充実の再検討はされたのでしょうか。経営の効率化だけでなく補助金の活用等を含めて町民が安心できる医療体制の充実について、議論を深めていただいたい。

## あれからどうなったんやあ～ シリーズ 98

このシリーズは、過去の定例会(今回は令和元年12月議会)での一般質問に関して、その後の状況をお知らせするものです。

### 問 若い世代の人口減対策は。

答 次期総合戦略の策定に取り組む。

### こうなりました

町では、令和3年3月に将来にわたって住み続けることができるまちづくりを実現するため、養老町まちづくりビジョンとの整合性を図りつつ、養老町人口ビジョンを改訂するとともに、第2期まち・ひと・しごと・創生養老町総合戦略を策定しました。

策定にあたっては、町内の各種団体の代表者、産学官金労言士といった各分野の有識者及び公募委員で構成される養老町地方創生推進委員会において、これまでの取組みについて議論いただき、本町の魅力や伝統・文化を発信しつつ、関係人口やテレワークを意識した計画としました。

今後は、計画に基づき、人口減少対策等に取組んでまいります。

### 議会だより編集特別委員会

委員長	野村 永一
副委員長	西脇 康
委員	松永 民夫
委員	吉田 太郎
委員	大橋 三男
委員	北倉 義博

### 編集後記

今号の表紙は「大巻薩摩義士工事役館跡」です。宝暦3年(1754年)幕府の命を受け、薩摩藩が当地に赴き1年3ヶ月の早さで三川の治水工事を完成させました。総奉行平田靱負が采配を振りましたが、多額の借財と犠牲者を出してしまった責任を取り自刃したという、本工事の拠点跡です。

昨年からの新型コロナウイルス感染により、町内のあらゆる行事が中止・延期となったため、表紙を養老かるたシリーズにしました。町内の魅力を再発見できれば幸いです。(吉田委員)

「わたしの声」を待っています。役場ロビーに意見箱を設置してあります

「わたしの声」の宛先は

〒503-1392 養老町高田798番地 養老町議会事務局内  
TEL (0584) 32-5084 (直通) FAX (0584) 32-1812  
メールアドレス:14gikai@town.yoro.gifu.jp



# 2月臨時会 3月定例会

令和3年第1回臨時会が、2月2日に開かれ、令和2年度一般会計補正予算を原案のとおり可決した。また令和3年第1回定例会が、3月4日から19日までの16日間の会期で行われた。

初日（4日）は、町長より新年度の施政方針が示され、専決処分等4件の報告を受けた。また、人権擁護委員3名の推薦に同意し、防災行政無線設備更新工事請負契約の変更及び訴訟上の和解について可決した。

条例改正、令和2年度補正予算及び令和3年度一般会計予算を含む全37議案の提案説明を受け、総括質疑を行った。補正予算及び新年度予算19議案の審査を予算特別委員会を設置し付託、18議案を各常任委員会へ付託することに決定した。

2日目（18日）は、7議員が一般質問を行った。

最終日（19日）は、初日に提出された1議案の撤回が許可され、新たに議案が追加され、提案説明を受け可決した。また、付託した各委員会の委員長から審査報告があり、令和3年度一般会計予算を含む全37議案を原案のとおり可決した。

## 令和3年度予算 195億8,890万円 (0.9%増)

一般会計 **112億2,300万円** (2.0%増)

特別会計 **69億4,720万円** (1.8%減)

企業会計 **14億1,870万円** (6.5%増)

※増減は令和2年度当初比

## 令和3年度 編集委員が注目する事業はこれ

### 庁舎機械棟の建て替え工事

**2億7,561万円**

災害時に防災拠点として本庁舎の機能を維持するための機械棟の建て替え工事及び空調設備改修工事をする。

### 移住定住促進事業

**884万7千円**

人口減少に歯止めをかけるため、移住相談の実施や子育て世帯の住宅取得支援及び三世同居・近居を促進し、孫育てに関する支援を実施する。令和元年度より継続事業。

### 証明書コンビニ交付サービス事業

**420万3千円**

全国のコンビニなどで住民票等証明書が、マイナンバーカードで交付できる事業。（8月開始予定）

### 乳幼児等医療事業

**1億1,027万円**

子ども子育て支援の一環として、医療費の無償化を中学3年生から高校3年生まで引き上げる。

### 新型コロナウイルスワクチン接種事業

**7,483万7千円**

新型コロナウイルスのワクチン接種へ予約専用コールセンターと相談窓口を設置。

### 私立保育園等整備事業

**4,440万4千円**

私立の小規模保育施設を設立するための事業費及び私立園での未満児の受け入れ体制の拡充を図るための施設改修にかかる事業費を補助する。

### 移動販売事業（商工業振興事業）

**396万円**

移動販売車による地域巡回（見守り）を行い、申込者宅まで日用品や食料品の販売を行う。

### 特産ブランド認証・促進事業

**477万2千円**

特産品の発掘や開発を支援し、養老特産ブランドとして認証した商品を町内外に発信していく。

### デジタル技術活用ウォーキング普及事業

**149万6千円**

各地区のウォーキングマップを活用し、民間アプリを利用したウォーキングコンテストを開催する。

### 水田農業構造改革対策事業

**610万6千円**

農業再生協議会に転作の現地確認用タブレット端末購入を助成する。

## 臨時会における主な質疑内容

## 定例会における主な質疑内容

**問** ●令和2年度一般会計補正予算  
新型コロナウイルス感染症ワクチン接種事業について、接種対象の人数は。

**答** 医療従事者、看護師、医療事務従事者、消防署救急隊、保健所の職員など約800人を想定している。

**問** 2時間あたり、接種できる人数は。

**答** 中央公民館中ホールの場合、各班で1時間あたり40人接種でき、3班予定しているため、2時間あたり240人の想定である。

**問** 基礎疾患の判断方法は。

**答** 基礎疾患の有無については自己申告となるため、予診票に記載をお願いしたい。

**問** 高齢者で交通手段の無い人や、寝たきりの人への対応方法は。

**答** 高齢者で交通手段がない人には、オンデマンドバスの利用をお願いし、その際の乗車料金は町で負担する。寝たきり老人の対応については、今後、医師会と在宅接種について検討したい。なお、妊婦については、胎児への影響が不明のため、優先接種の対象外となっている。



●養老町消防団員の定員、任免、給与、職務等に関する条例の一部改正

**問** 幹部団員とそれ以外の団員では、報酬改定の額に大きな開きがある理由は。

**答** 幹部団員ほど負担が多くなるためであり、近隣市町の状況を見て判断した。

●訴訟上の和解について

**問** パワハラの当事者や上司、組織へのケジメの取り方は。

**答** 当時、庁内でパワハラに関する調査を行い、担当課長等が処分をされた。

**問** 訴訟費用の負担は。

**答** 国家賠償であるため町で費用負担する。なお、本件については、当課長への費用請求は行わない考えである。

**問** 再発防止の具体的な取り組みは。

**答** 「養老町職員のハラスメントの防止等に関する要綱」及び「ハラスメントの防止に向けて」を作成し、ハラスメント防止研修、メンタルマネジメント研修などを定期的に開催し、職員意識向上を図っている。また、毎月、衛生委員会を開催し、職場の安全確保や職員の健康確保に努めている。また、全職員を対象にストレスチェックを実施し、産業界の個別面談も行うている。

# 【予算特別委員会】

●令和2年度養老町一般会計補正予算

**問** 令和2年度ふるさと応援基金積立金の額は。

**答** 積立金は7億8350万円である。なお、寄附金見込額9億7500万円のうち、充当先が指定されている1億9150万円を除いた額である。

**問** 新型コロナウイルス感染症対策事業（小中学校保健衛生）の内容は。

**答** 県の時短要請に伴う町の負担分である。内訳は2月8日からの28日間について、1日当たり6万円の5%分が65件分想定している。

**問** 障害児通所給付事業229万1000円の内容は。

**答** 主にそよかせ教室の利用が増加しており、支援者60人程度の利用回数が、月7回程から8回に増えたため。

**問** 新型コロナウイルス感染症対策事業（経済対策）546万円の内容は。

**答** 主にそよかせ教室の利用が増加しており、支援者60人程度の利用回数が、月7回程から8回に増えたため。



●令和2年度 養老町 立食肉事業センター 特別会計補正予算

**問** 県内産牛放射性物質の検査方法は。

**答** 屠畜された肉からサンプルをとり、専用の容器に入れて機械にかける検査方法。なお、県では放射性物質はほとんど検出されていないため、令和2年3月末で事業が廃止された。

●令和3年度養老町一般会計予算

**問** AIチャットボット97万円の具体的な内容は。

**答** 各種問い合わせに対する回答を自動化するとともに、回答のフォームを作り、各種行政手続きのうち定型化している手続きについてオンラインの申請化を図るもの。予算内訳については、AIチャットボット

ト使用料月額2万円、年26万4000円（消費税込み）。オンラインシステム使用料月額5万3500円、年70万6200円（消費税込み）。

**問** 地域自治町民会議設立事業109万4000円について、養老地区、室原地区の内訳は。

**答** 養老地区は設立交付金が20万円、地域まちづくり計画策定事業費32万2000円、事務局運営費10万円、合計62万2000円。室原地区は設立交付金が20万円、地域まちづくり計画策定事業費が17万2000円、事務局運営費10万円、合計47万2000円。

**問** 庁舎 PCB処理の種類、運搬先、費用、処理期限は。

**答** 庁舎 PCB処理の種類、運搬先、費用、処理期限は。

**答** 機器の種類はコンデンサと蛍光灯安定器。運搬先は豊田市。費用はコンデンサは約85kgで約100万円、安定器は約380kgで約1100万円。処理期限は令和3年度末まで。

**問** 福寿荘運営費を増額した意図は。

**答** めぐみ集会所を用途廃止し、近隣の福寿荘を代替施設とするもの。

**問** 老人福祉センター指定管理事業費の内訳は。

**答** 消耗品34万円、水道光熱費471万6000円、修繕費10万円、通信費19万7000円、委託料601万7000円、賃借料22万7000円など、合計1159万7000円。うち社協の財源が70万4000円。なお、現在休館中であるが、再開時期については社協と協議する。

**問** 乳幼児等医療費が16歳から18歳まで無償化となるが、対象人数は。

**答** 令和3年度で799人。

**問** 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種の町の体制は。

**答** 保健センターの保健師を中心に健康福祉課と合わせ8名でチームを組む。また、相談窓口を2階研修室に設け、他課応援2名、4名体制で相談や予約などを受け付ける。

※1 チャット(会話)を AI(人工知能ロボット)が代行してくれるシステム  
※2 PCBポリ塩化ビフェニル  
※3 コンデンサとは電気を蓄えたり放出したりする電子部品。

**問** 消防施設整備補助金400万円の財源内訳は。

**答** 新設防火水槽設置に伴う補助金300万円。残り100万円を各地区のホースや格納箱等の補助にあてる予定。総工費が約600万円以上となっているため、地元負担は約300万円となる。

**問** 新型コロナウイルス感染症対策事業（小中学校保健衛生）の内容は。

**答** 感染症対策等の学校教育活動継続支援事業として国の補助金を活用して、学校へ配備するものを購入する。主に手指消毒液、ハンドソープ、ビニール手袋、台所用漂白剤等。また、子ども達の学習保障支援ということで、タブレットの専用ペン、HDMIケーブル、キーボード用ACアダプター等。



**問** 斎苑の施設改修費を最小限とした判断の根拠や、広域化の議論の状況は。

**答** 業者が定めている火炉等長期修繕計画（10年）に則って、火炉等の修繕状況の有無を確認したうえで工事費は必要最低限の補修予算とした。また、広域でのあり方については、今後近隣市町とも協議しながら進めていきたい。

**問** 消防施設整備補助金400万円の財源内訳は。

**答** 新設防火水槽設置に伴う補助金300万円。残り100万円を各地区のホースや格納箱等の補助にあてる予定。総工費が約600万円以上となっているため、地元負担は約300万円となる。

**問** 消防用通信設備更新事業4543万円とは。また、今後の更新費用は。

**答** 平成27年3月に高機能消防指令センターが開所したことに伴い、令和3年度に部分更新するための費用。5年後には全体更新として2億5000万円ほどかかり、10年間で計3億円程度になる見込み。また、消防デジタル無線についても、令和4年度に部分更新があり、年間保守10年間で計1億4000万円ほどかかる見込み。

**問** 学習講座の講師謝礼100万円を減額したが、今後の方向性は。

**答** 学習講座のあり方も含めて、来年度1年間かけて見直しを図っていく方向で、各公民館長とも協議を進めている。

ト使用料月額2万円、年26万4000円（消費税込み）。オンラインシステム使用料月額5万3500円、年70万6200円（消費税込み）。

**問** 地域自治町民会議設立事業109万4000円について、養老地区、室原地区の内訳は。

**答** 養老地区は設立交付金が20万円、地域まちづくり計画策定事業費32万2000円、事務局運営費10万円、合計62万2000円。室原地区は設立交付金が20万円、地域まちづくり計画策定事業費が17万2000円、事務局運営費10万円、合計47万2000円。

**問** 庁舎 PCB処理の種類、運搬先、費用、処理期限は。

**答** 庁舎 PCB処理の種類、運搬先、費用、処理期限は。

**問** 町民プールの屋根を修繕した時の起債残高は。

**答** 今年度末の未償還元金は1億5148万3309円。なお最終は令和15年度。

**要望事項** コロナ禍で成人を迎えられたという社会的な状況の中、すべての成人に地域商品券を配付されるよう要望した。

**対応** 新成人の現況を鑑み、当日成人式を欠席された方も含めすべての成人に地域商品券を配付する。

**要望事項** 公共施設の老朽化に伴う事業の見直しについて、町民はもとより議会にもいち早く開かれた会議の中で余裕を持った議論をし、周知されるよう要望した。

**要望事項** 公共施設の老朽化に伴う事業の見直しについて、町民はもとより議会にもいち早く開かれた会議の中で余裕を持った議論をし、周知されるよう要望した。

**要望事項** 公共施設の老朽化に伴う事業の見直しについて、町民はもとより議会にもいち早く開かれた会議の中で余裕を持った議論をし、周知されるよう要望した。

**答** 機器の種類はコンデンサと蛍光灯安定器。運搬先は豊田市。費用はコンデンサは約85kgで約100万円、安定器は約380kgで約1100万円。処理期限は令和3年度末まで。

**問** 福寿荘運営費を増額した意図は。

**答** めぐみ集会所を用途廃止し、近隣の福寿荘を代替施設とするもの。

**問** 老人福祉センター指定管理事業費の内訳は。

**答** 消耗品34万円、水道光熱費471万6000円、修繕費10万円、通信費19万7000円、委託料601万7000円、賃借料22万7000円など、合計1159万7000円。うち社協の財源が70万4000円。なお、現在休館中であるが、再開時期については社協と協議する。

**問** 乳幼児等医療費が16歳から18歳まで無償化となるが、対象人数は。

**答** 令和3年度で799人。

**問** 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種の町の体制は。

**答** 保健センターの保健師を中心に健康福祉課と合わせ8名でチームを組む。また、相談窓口を2階研修室に設け、他課応援2名、4名体制で相談や予約などを受け付ける。

※1 チャット(会話)を AI(人工知能ロボット)が代行してくれるシステム  
※2 PCBポリ塩化ビフェニル  
※3 コンデンサとは電気を蓄えたり放出したりする電子部品。

**要望事項** 施設の老朽化に伴い、一般会計からの繰入れが平成29年度から徐々に増え、現在9160万円まできている。一刻も早く今後の方針を示されるよう要望した。



### 【総務民生委員会】

**●養老町議会議員及び養老町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定**

**問** 一人あたり公費負担の額は、また供託金の額は。

**答** 選挙運動用自動車、ビラ、ポスターの公費負担を試算したところ、町議会議員選挙では一人あたり上限69万6528円、町長選挙では上限72万2062円。供託金については、町議会議員選挙15万円、町長選挙50万円である。

**●養老町国民健康保険税条例の一部改正**

**問** 賦課方式が4方式から資産税割を無くした3方式へ変更するにあたり、対象者数と影響額は。

**答** 基本的には町の総合管理計画に基づき解体することとなるが、まずは地域の方に使用について相談し、責任を持って管理して頂ける団体があれば検討する。

**答** 令和2年度所得による試算では、対象は2352世帯、4784万4700円の減。なお、今回コロナ禍で実施を見合わせた所得割等への増額については、数年間の状況をみて見直しを図りたい。

**●養老町認定こども園条例の一部改正**

**問** こぼれごも園廃園後の跡地利用の見直しは。

**答** 基本的には町の総合管理計画に基づき解体することとなるが、まずは地域の方に使用について相談し、責任を持って管理して頂ける団体があれば検討する。

**●養老町福祉医療費助成に関する条例の一部改正**

**問** 2つの改正の具体的内容は。

**答** 1点目は、コロナ禍での子どもの支援という意味で、今回18歳まで医療費の無償化を拡充するもの。2点目は、従来の健康保険証とマイナンバーカードも健康保険証として利用ができるようになったことによる文言の改正。

**●養老町国民健康保険条例の一部改正**

**問** 新型コロナウイルスの傷病手当金に関し、イギリスやアメリカなどの変異株の取り扱いは。

**答** 国の通知による変異株も対象となる。

**●養老町消防団員の定員、任免、給与、職務等に関する条例の一部改正**

**問** 機能別団員について、報酬1万円の算定基準、退職金の有無、想定人数、出勤回数

**答** 報酬の算定基準については、機能別団員を実施している西濃5市町のうち、4市町が年額1万円、1町が5000円であること。退職金については、現団員が一旦退職するときに退職金を受け取るが、機能別団員に変わってからは無い。想定人数については、約100人を目標にしている。出勤回数については、年4回を想定しているが、実際は2回ほどになる見込み。

**●町道路線の変更**

**問** 変更路線の延長は。

**答** 27路線あり、概算でマイナス2522・2mである。

**●町道路線の認定**

**問** 認定路線の延長は。

**答** 4路線あり、概算で400・7mである。

### 【産業建設委員会】

**●烏江41号線について、石畑の踏切を改良する時期は。また、烏江の踏切を完全に撤去する考えは。**

**答** 烏江41号線については、石畑の踏切については、令和2年度内に工事の着手が予定されている。また、烏江の踏切については、地元との協議により、撤去することになっている。

**●石畑の踏切について、令和2年度内に工事の着手が予定されている。また、烏江の踏切については、地元との協議により、撤去することになっている。**

**●路線の延長が概算でマイナス3704mとなり、試算では約195万円の減となる。**

**●今回の町道路線の廃止・変更・認定による、地方交付税への影響は。**

**答** 今回の町道路線の廃止・変更・認定による、地方交付税への影響は。

なお、町道路線に関する質疑内容は、「町道路線の廃止」の撤回の内容を一部含んでいます。

令和3年2月 臨時会

こんなことが決まりました

議案	結果
一般会計補正予算（第6号）	全員賛成で可決

令和3年3月 定例会

こんなことが決まりました

議案	結果
令和3年度予算	

一般会計	全員賛成で可決
国民健康保険特別会計	全員賛成で可決
簡易水道特別会計	全員賛成で可決
食肉事業センター特別会計	全員賛成で可決
住宅新築資金等貸付特別会計	全員賛成で可決
上水道事業会計	全員賛成で可決
公共下水道事業会計	全員賛成で可決
農業集落排水事業特別会計	全員賛成で可決
介護保険事業特別会計	全員賛成で可決
介護サービス事業特別会計	全員賛成で可決
後期高齢者医療特別会計	全員賛成で可決

令和3年度繰入れ

食肉事業センター特別会計	一般会計から9,160万円繰入れる	全員賛成で可決
農業集落排水事業特別会計	一般会計から2,057万9千円繰入れる	全員賛成で可決

令和2年度補正予算

一般会計（第7号）	全員賛成で可決
国民健康保険特別会計（第4号）	全員賛成で可決
食肉事業センター特別会計（第3号）	全員賛成で可決
上水道事業会計（第2号）	全員賛成で可決
公共下水道事業会計（第2号）	全員賛成で可決
後期高齢者医療特別会計（第2号）	全員賛成で可決

条 例

行政機構の改革に伴う関係条例の整備に関する条例制定	全員賛成で可決
養老町議会議員及び養老町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例制定	全員賛成で可決
養老町国民健康保険税条例の一部改正	全員賛成で可決
養老町認定こども園条例の一部改正	全員賛成で可決
養老町福祉医療費助成に関する条例の一部改正	全員賛成で可決
養老町国民健康保険条例の一部改正	全員賛成で可決
養老町介護保険条例の一部改正	全員賛成で可決
養老町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営等に関する基準を定める条例の一部改正	全員賛成で可決
養老町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正	全員賛成で可決
養老町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	全員賛成で可決
養老町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正	全員賛成で可決
養老町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正	全員賛成で可決
養老町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正	全員賛成で可決
養老町火災予防条例の一部改正	全員賛成で可決

そ の 他

専決処分報告（養老町営住宅の管理に関する訴えの提起）3件	報告のみ
債権放棄の報告	報告のみ
養老町老人福祉センターの指定管理者の指定	全員賛成で可決
町道路線の廃止	全員賛成で可決
町道路線の変更	全員賛成で可決
町道路線の認定	全員賛成で可決
養老町防災行政無線設備更新工事請負契約の変更	全員賛成で可決
訴訟上の和解	全員賛成で可決

人 事 同 意

人権擁護委員	高木和子（再任）、桑原利恵（新任）、棚橋宏昭（新任）	結果
	任期 令和3年7月1日から令和6年6月30日	全員賛成で同意



◆岩永 義仁 議員

# 年末の打ち上げ花火は

## 町長 コロナ禍での癒やし

町は、住民のコロナ疲れを癒やすことを目的に「希望のヒカリ事業」として総予算1750万円を計上し、花火を打ち上げた。

**問** 15分間の打ち上げ花火を行ったが、感染症対策事業として適切であったか。

**答** 花火を見た町民からは好評だった。一定の評価を得たと考える。

**問** クラウドファンディングを募り、募金額115万円に達して寄付額30万9千円で不調に終わった。また、コロナ対策で企業に負担を強いるのは趣旨に反しないか。

**答** クラウドファンディングと一般分を合わせ600万円以上の寄付を頂けた。コロナ禍の厳しい中での寄付に感謝している。

※クラウドファンディングとはインターネット上で発信者の想いに共感し、応援したいという人から寄付を集める行為。

**問** 当日の広報が流れるまで、花火の打ち上げを秘密にしていた。議会でも説明はなかった。町民への告知方法は適切であったか。

**答** 3密対策で寄付者、近隣住民、耕作者等に事前告知を行った。

**問** 養老公園に寄付者だけを集めてステージイベントが実施された。多くの町民には秘密だった。結局は一部の人のために多額の予算が使われたのではないか。

**答** 町民の皆様にはサプライズで観覧いただき、多くの方に希望を感じ取ってもらえたと考えます。

# 町民プール一時休館は

## 教育長 余程の事がない限り廃止

町民プールの一時休館が発表された。屋根の修繕等による起債（借金）が令和15年度まで10年以上残っている施設である。

**問** 休館に至った経緯は。

**答** 町民アンケート、パブリックコメントを1月にまとめ、2月に行財政改革推進審議会から「プールは廃止、その他は別施設へ統合廃止を検討」という答申を受け一時休館が決まった。教育委員会からは老朽化する学校プールの代わりに町民プールを活用する提案をしていた。

**問** 利用者の代替施設への案内や、民間施設を利用する場合の差額に対する補助の考えは。

**答** プールは海津市のプールや民間施設を、ジムは総合体育館へ案内。ヨガやエアロビは他施設での開催を検討。民間施設利用時の差額補助は検討なし。

**問** アンケートの回答者で継続的な利用者約5%だけ。町民プール利用者のアンケートを実施する考えはないか。

**答** 利用者アンケートは実施しない。

**問** このままでは何も町にならなってしまう。夏だけでもプールを運営できないか。

**答** コスト的に難しい。



町民プール存続のため署名をする住民

# 食肉事業センターの将来は

## 町長 維持しながら新施設を早く



◆北倉 義博 議員

養老改元1300年祭を契機に我が町へのふるさと納税額が飛躍的に増加している。その返礼品の90%以上を占める食肉産業は重要な産業の一つである。

**問** 現施設への支出増加の見通しは。

**答** 施設・機械の老朽化による修繕費が増加傾向ではあるが建物や大型設備の更新を行う考えはない。豚熱やコロナによる使用料の減少分は徐々に戻りつつある。

**問** 新食肉基幹市場建設の進捗状況は。

**答** 岐阜県食肉基幹市場建設促進協議会に於いて、令和2年3月に「県内の場合には統合による新設が必要」との認識が再確認されたが、コロナの影響で会議が開けず予定より遅れている。令和3年度にコンソーシアムを立ち上げ施設整備計画を立てていく予定。課題は施設の規模と建設費用の分担である。新年度には庁内に食肉基幹市場建設推進室を

設置し持続可能な規模の調査、県内市町村の負担への理解を働きかける。また、新施設が町に与える経済波及効果を算定し、町民の理解を得られるように進める。

ふるさと納税返礼品で選ばれている食肉製品の割合

年度	2017年	2018年	2019年	2020年※
寄附額 合計	109,330	238,584	547,617	961,087
食肉製品返礼品を選択した寄附額	103,694	229,438	509,702	889,804
割合	94.84%	96.17%	93.08%	92.58%

※2020年4月～2021年1月末

※コンソーシアムとは2つ以上の個人、企業、団体が政府から成る団体

# ワクチンの副反応、安全性は

## 町長 町広報・HP・チラシ等で周知



◆清水由美子 議員

第4波も予想されるコロナ感染。新しいワクチンへの不安、接種有無でのハラスメント対策を問う。誰でもできる感染対策も提言。

**問** コロナ感染者、現時点での入院治療者数と第4波に向けて、県や国へ医療体制の要望は。

**答** 46名退院し、現在4名入院（3月18日時点）。引き続き、郡医師会・県等と情報を常に共有し、迅速に対応していく。

**答** 接種の有無は厳重に管理。人権侵害が疑われる事例があった場合は、法務局へ通報し連携を取る。

**問** ワクチン効果は最大ではない。コロナが落ち着くまで、誰でもできる「免疫力アップ」の情報に載せたらどうか。

**答** 町HPに「新しい生活様式」における食生活にリンクを貼っている。町広報への掲載内容については検討していく。

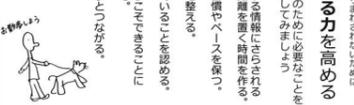
**問** ワクチンの副反応、安全性、有効性等の情報提供と町庁舎設置の相談窓口対応は。

**答** 首相官邸や厚生労働省のHPの情報等を町広報・町HP等で周知。町相談窓口は、予約業務の補助。

※HPホームページ

**問** 接種ができない、しない方へのコロナハラスメント対策は。

不安にふりまわされないために日本赤十字社より





◆田中 敏弘 議員

## ふるさと応援基金 有効活用を

### 町長 今後、注視し検討していく

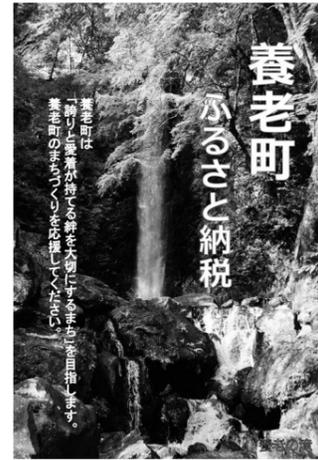
ふるさと納税寄付金額が、順調に増加しており、有難いが、コロナ禍にあってこの際、より柔軟にこの基金を活用すべきと提案するが。

**問** コロナ禍において、人との接触機会の低減を図り、新型コロナウイルス感染症の拡大防止、子育てや共働き世帯に支援する為、「宅配ボックス設置費の助成」をすることを提案する。

**答** 宅配ボックスの設置は徐々にふえている。宅配業界においては、受取り場所を郵便局・コンビニ等に設定でき、コンビニであれば、自分のタイミングで受取り可能である。今後、住民からの要望や動向を見守っていく。

**問** コロナ対策の緊急事態宣言では、屋営業の喫茶店等は協力金給付対象外で不公平感大となり、対応が必要と考えるが。

**答** コロナ禍で影響を受けた中小企業・個人事業主に支援する国の制度が、3月8日より申請受付開始されているので、この制度の活用を案内していく。また、商工会より要望を受けており、内容を十分検討し支援策を模索する。



ふるさと納税カタログ表紙



◆早崎百合子 議員

## 新型コロナワクチン接種は

### 町長 集団接種で実施

**問** 令和3年4月1日現在で、ワクチン接種の対象人数は。

**答** 医療従事者関係は約800人。16〜64歳は約15400人。65歳以上は9500人の見込みである。

新型コロナワクチン接種は、町中央公民館中ホールと西美濃厚生病院で集団接種を行う。接種体制は各市町村によって検討課題が違うが。

**問** 隣接市町、勤務地市町での接種は。

**答** 厚生労働省より、老人福祉施設や病院などに入所の場合は例外として認めるが、原則認められない。

**問** 集団・個別接種の組み合わせの選択肢の考えは。

**答** ファイザー社のワクチンのため、基幹病院や保健センターに限定される。養老郡医師会と協議し、集団接種となっている。他のワクチンが入荷される場合は、各医療機関での接種も検討される。

**問** 接種しない選択肢は。

**答** 妊婦の方などを除き、16歳以上の方は国民の努力義務となっている。町としては、ワクチン接種は勧奨している。

#### ワクチン接種の受け方

- ① 接種券が届く  
高齢者へは、3月下旬ごろ、自宅に接種券を郵送します。事前にご予約ください。
- ② 予約をする  
コールセンター(電話予約)やインターネットによる予約システムで、接種場所・接種希望日を選択します。  
※電話やインターネットの通信費は自己負担になります。
- ③ 接種する  
当日は、送付された接種券をご持参のうえ、接種会場へお越しください。  
※現在、病気で治療中の人や、体調など接種に不安がある人は、かかりつけ医等とご相談の上、ご予約ください。

ワクチンの相談窓口 ☎0120-761-770

接種等に関する相談に際しては、厚生労働省が設置しています。  
・ワクチンの基本的な情報  
・予約される副反応の種類や頻度など

国民保健センター ☎32-9025

広報よろう 2021.3.1 15ページ

## 学校給食費等、課題対応は

### 教育長 支援制度の周知に力を入れる

文科省が学校給食費等の徴収に関する公会計化等の推進について、通知が出ているが養老町の対応、方針を問う。

**問** 学校給食費の公会計化についての方向性は。

**答** 本町では従前より自校給食を実施し、給食運営委員会を設置し私会計方式をとっている。給食関係の業務実態について、集金は口座振替、他の業務は栄養教諭・栄養職員・事務職員が行っており担任教諭はほぼ携わっていない。公会計化の検討は重要であるが、自校給食の当町では導入は難しい。

**問** 一部無償化・補助等の考えは。

**答** 一旦実施に踏み切ってしまうと事業継続を求められるため、難しい判断である。今は就学援助制度等の周知に力を入れ、生活に困っている方の援助に重点を置きたい。



ほかに「行政手続きの押印廃止について」の質問もしました。

**答** 学校給食法により原則保護者負担の考えである。無償化した場合1億1千万円余の予算化が必要で、財政的に難しい。

**問** 学校給食費の無償化について、町の見解は。

**問** 受委託契約のきっかけは。

**答** 新型コロナウイルス感染症対策としての町単独の事業であり、プロポーザル方式(事業者提案型)で事業者の募集をした。

**問** 住民生活の利便性向上の施策は実施すべきであるが、町商工会とはどんな関わりを持っているのか。

**答** 多様なニーズに対応していくことが可能であり、支援策等を検討して考えていく。

## 移動スーパー「御用聞き」は

### 町長 養老町の受委託契約である



移動販売車「御用聞き」

**答** キッチンカーなどへの業態変更も想定しているが、経済産業省の事業再構築補助金などを利用し、販売路拡大を進めていきたい。

**問** 食料品以外の移動店舗などの受委託契約は。

**答** キッチンカーなどへの業態変更も想定しているが、経済産業省の事業再構築補助金などを利用し、販売路拡大を進めていきたい。



◆小寺 光信 議員

# 五次総のまちづくり推進力は

## 町長 住民自治と地域協働の助け合い

基本構想に基づき基本計画と実施計画により、行政改革と地域協働と住民自治の推進の3つの仕組みがそれぞれ重なり合っており進められた。

**問** 行財政改革は。

**答** 平成23年に「養老町行政経営改革プラン」を策定、その後「行財政改革推進本部」を設置し専門部会やワーキンググループ等で調査・研究して改革を遂行。平成30年に「養老町行政改革推進審議会」を設置し、「第二次養老町行政経営改革プラン」を策定して改革を進めた。

**問** 地域協働・住民自治の推進は。

**答** 平成26年制定の「地域自治町民会」の設立にあたって「地域まちづくり計画」を策定する中で地域の課題解決に向けた企画・検討が行われている。既設立は、上多度、笠郷、広幡の3地区、2地区は設立準備・検討中。



第五次総合計画・後期基本計画

# 養老町の健康福祉は

## 町長 健康づくりの目標指標で管理

特定健康診査受診率、被保険者1人当たりの医療費、国民健康保険税の収納率等による指標作成で、予防的な健康福祉政策の推進に努めた。

**問** 特定健康診査受診率は。

**答** 国の数値には及ばないが平成21年度31・7%、平成26年度33・1%、令和元年度39・3%と向上、しかしコロナ禍で微減した。

**問** 被保険者一人当たりの医療費は。

**答** 平成21年度26万2950円、平成26年度33万6909円と年々増加中。

**問** 国民健康保険税の収納率は。

**答** 平成21年度89・21%、平成26年度93・18%、令和元年度96・68%と目標値95%を達成した。



ねんりんピック2021ポスター

**問** ねんりんピック岐阜2021は。

**答** 町では「ねんりんピック岐阜2021養老実行委員会」が実施主体となり、ペタンク交流大会が中央公園多目的広場で開催される。全国から72チーム288名が参加し、10月30日開会式、31日予選、11月1日には決勝戦が行われる予定。選手・大会関係者等を「おもてなし」、再訪問していただけるきっかけを作る。

# 隠れ近視対策等の取り組みは

## 教育長 活用ルールで学習環境を整備



◆水谷久美子 議員

年度末には、小中学校全児童生徒にタブレット端末が貸与される。電磁波や隠れ近視等、児童生徒に与える健康面での慎重な検討が必要。

**問** 視力検査による裸眼視力が1.0未満の小中学校生の割合は。

**答** 小学校では39%、中学校では47%で両目もしくは、片目が1.0未満の場合医療機関への受診を勧めている。

**問** 近視を正確に調べるには特殊な装置を使い眼軸の長さを測定する必要はある。文科省は、来年度大規模調査を実施することだが、町の取り組みは。

**答** 各学校が行う視力検査でスクリーニングし、専門医の受診結果を基に「隠れ近視」の実態把握に努める。

**問** 家庭との連携やタブレット学習を健康面からの指針を掲げ対策を講じているか。

**答** タブレット活用ルールを定め、家庭と情報連携し健康意識を高め、視力低下防止に取り組み環境を整備していく。

**問** タブレット活用ルールを定め、家庭と情報連携し健康意識を高め、視力低下防止に取り組み環境を整備していく。

**問** コロナ禍の下で家計急変世帯への就学援助金対応は。

**答** タブレット活用ルールを定め、家庭と情報連携し健康意識を高め、視力低下防止に取り組み環境を整備していく。



WHO基準 20-20-20ルール

# 火災警報器設置施策の推進を

## 町長 設置率の向上に努める

住宅用火災警報器の設置は、消防法の改正で新築・既存住宅も含め全ての住宅に義務化され、今年6月で10年となる。器具の点検も含め節目の施策が求められる。

**問** 町内の設置率の把握は。

**答** 調査世帯の方法は、無作為抽出でスパーマーケットの店頭調査などで82%の設置率だった。

**問** 設置世帯は、約8500世帯になるが設置率は、施策の基本である。正確さを欠いていないか。

**答** 国からの調査依頼に基づいている。しかし、より正確な調査をするため、地元区長、消防団・女性防火クラブ一体で協議していきたい。

**問** 過去5年間で住宅用火災警報器の検知件数は。

**答** 17件の住宅火災があり設置9件(内、作動確認5件)、未設置は10件だった。また、過去において2件の奏功事例がある。鳴動に気づき早期対応で火災に至らなかった。



電池交換・器具の点検、大丈夫ですか？

ほかに「緊急通報システム事業について」の質問もしました。